

これまでの道のり

開業100周年に向けた、鶴川駅周辺についてのこれまでの活動を時系列に整理しました。

鶴川駅開通

1927

1927年に小田急電鉄小田原線「直通」の停車駅として開業しました。



鶴川駅北口



鶴川街道



鶴川街道



鶴川駅前バス乗り場



岡上跨線橋から見る北口



鶴川駅前バス乗り場



岡上跨線橋から見る北口



結婚式に向かう花嫁さん



能ヶ谷神社祭 子供祭り

1968

鶴川駅前土地区画整理事業都市計画決定

1982

鶴川駅前土地区画整理事業
換地処分（鶴川駅北口広場整備）

2007

鶴川駅北土地区画整理事業
換地処分（芝溝街道整備）

2013

鶴川駅南側街づくり
ビジョンの策定

2018 小田急電鉄 鶴川駅アイデアコンテスト (23ページ～)

(主催者：小田急電鉄株式会社+全国からの応募者)



2018年6月から9月にかけて、小田急電鉄株式会社が、鶴川駅周辺の価値向上に寄与するアイデアを公募するコンテストを実施しました。コンテストでは、地域との連携を重視し、駅と地域を繋いだ空間の在り方をテーマに、駅デザインに加えて、将来の駅のあり方を見据えた駅機能・活用の提案をして頂きました。

● コンテスト概要

応募部門

1. 駅舎デザイン部門
2. 駅周辺空間アイデア部門
3. 駅活用アイデア部門

応募期間

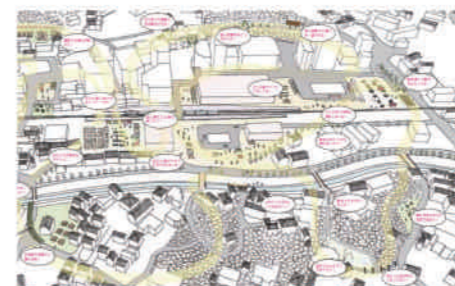
2018年6月1日(金) -
2018年9月28日(金)

応募者データ

・総エントリー数	…	695点
・総応募数	…	204点
・応募者平均年齢	…	39.5歳
・応募者最年少年齢	…	13歳
・応募者最年長年齢	…	76歳



駅舎デザイン部門 最優秀賞



駅周辺空間アイデア部門 優秀賞

2014

道路の基本的な
考え方のとりまとめ

2018

小田急電鉄 鶴川駅アイデアコンテスト



2016

小田急電鉄と
「鶴川駅及び駅周辺の再整備の推進に関する協定書」の締結

2019 みんなの鶴川駅プロジェクト「鶴川駅を考える会」(29ページ~)

(主催者：町田市・小田急電鉄株式会社・(株)TNA+地域の方々)

鶴川駅リニューアル工事に先立ち、駅利用者や周辺住民の意見を取り入れるべく、2019年4月から7月までの開催されました。約300名の方々に参加頂き、駅および駅周辺の使い方や将来像、市民参画の在り方について

問、計7回「鶴川駅を考える会」が充実した議論が交わされました。



第1回鶴川駅を考える会



日時：4/7(日) 18:00~20:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川ホール
参加者：78名

- ① 鶴川駅アイデアコンテストについての報告
- ② 「みんなの鶴川駅プロジェクト」の趣旨について説明
- ③ 西村浩さんによる講演会
- ④ 鶴川駅周辺の再整備計画の基本方針についての説明

第2回鶴川駅を考える会



日時：4/20(土) 10:00~12:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川3F多目的室
参加者：65名

- ① 「鶴川駅アイデアコンテスト」のアイデアの紹介
- ② アイデアカードを使って、更に新しいアイデアを考える
- ③ 話し合った内容を発表し、全体でアイデアを共有

第3回鶴川駅を考える会



日時：5/18(土) 10:00~12:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川ホール
参加者：57名

- ① ペルソナとマップを使って、アクティビティの「どこ」と「だれ」を考える
- ② 話し合った内容を発表し、全体でアイデアを共有

第4回鶴川駅を考える会



日時：6/8(土) 14:00~16:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川ホール
参加者：62名

- ① 中島伸先生によるレクチャー
- ② 模型を使って単なる通り道ではない南北自由通路を考える
- ③ 話し合った内容を発表し、全体でアイデアを共有

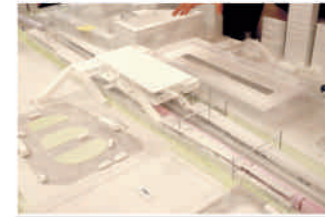
第5回鶴川駅を考える会



日時：6/29(土) 14:00~16:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川ホール
参加者：59名

- ① 前回の成果をまとめた3つのテーマに基づく模型を見ながら、駅での活動の仕組みを考える
- ② 話し合った内容を発表し、全体でアイデアを共有

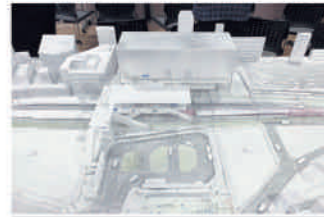
第6回鶴川駅を考える会



日時：7/20(土) 10:00~12:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川ホール
参加者：50名

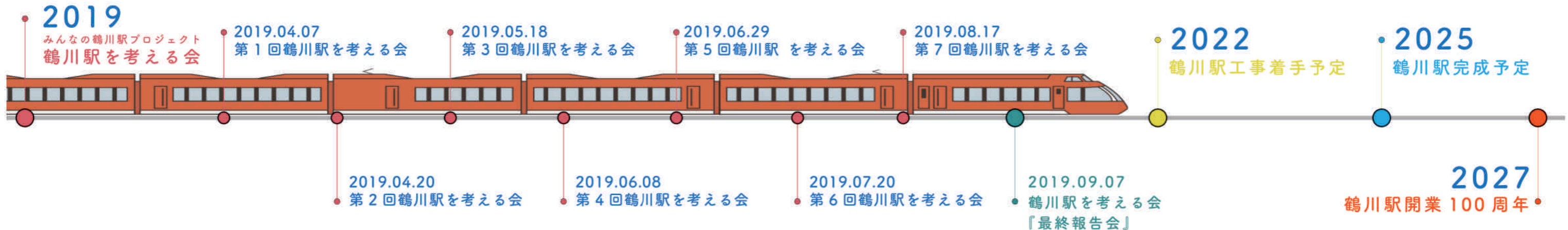
- ① 周辺エリアを含む最新の計画案について、模型と3D CGを用いて意見やアイデアを出す
- ② 話し合った内容を発表し、全体でアイデアを共有

第7回鶴川駅を考える会



日時：8/17(土) 14:00~16:00
場所：和光大学ポブリホール 鶴川ホール
参加者：58名

- ① 大まとめシートにシールを貼りながら、意見やアイデアを追加していく
- ② 話し合った内容を発表し、全体でアイデアを共有



小田急電鉄 鶴川駅アイデアコンテスト

2018年6月から9月にかけて、小田急電鉄株式会社が、鶴川駅周辺の価値向上に寄与する様々なアイデアを公募するアイデアコンテストを実施しました。このコンテストでは、地域との連携を重視し、駅と地域を繋いだ空間の在り方をテーマに、駅デザインに加えて、将来の駅のあり方を見据えた駅機能・活用の提案をして頂きました。

それぞれ鶴川への想いや夢が伝わる提案ばかりでしたが、ここでは応募頂いた作品に共通する5つのテーマに分類してご紹介します。

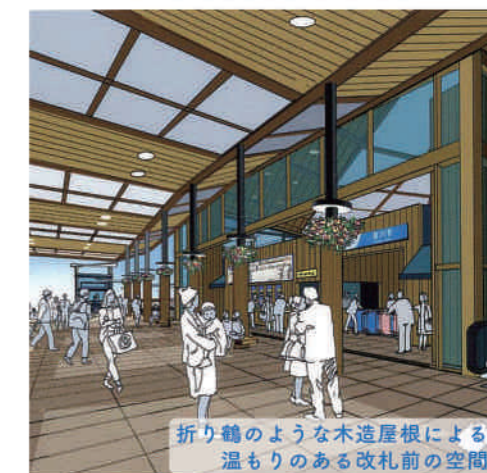
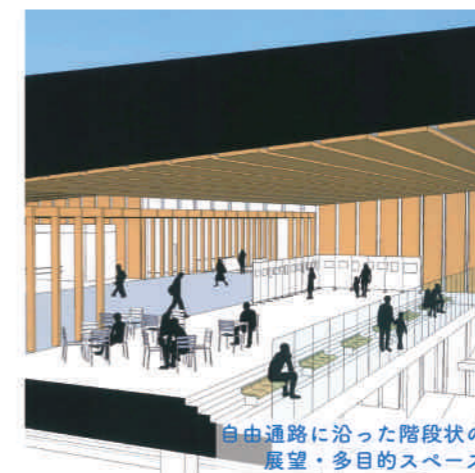
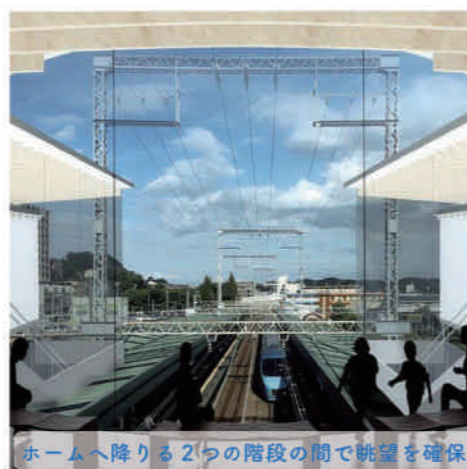
5つのテーマ

- 01 ▶ 駅に人の居場所をつくる
- 02 ▶ 鶴川駅の北側と南側を繋ぐ
- 03 ▶ 商業施設と一体的に計画する
- 04 ▶ 景観に配慮したランドスケープ
- 05 ▶ 駅や広場で開催できる活動・イベント

01

駅に人の居場所をつくる

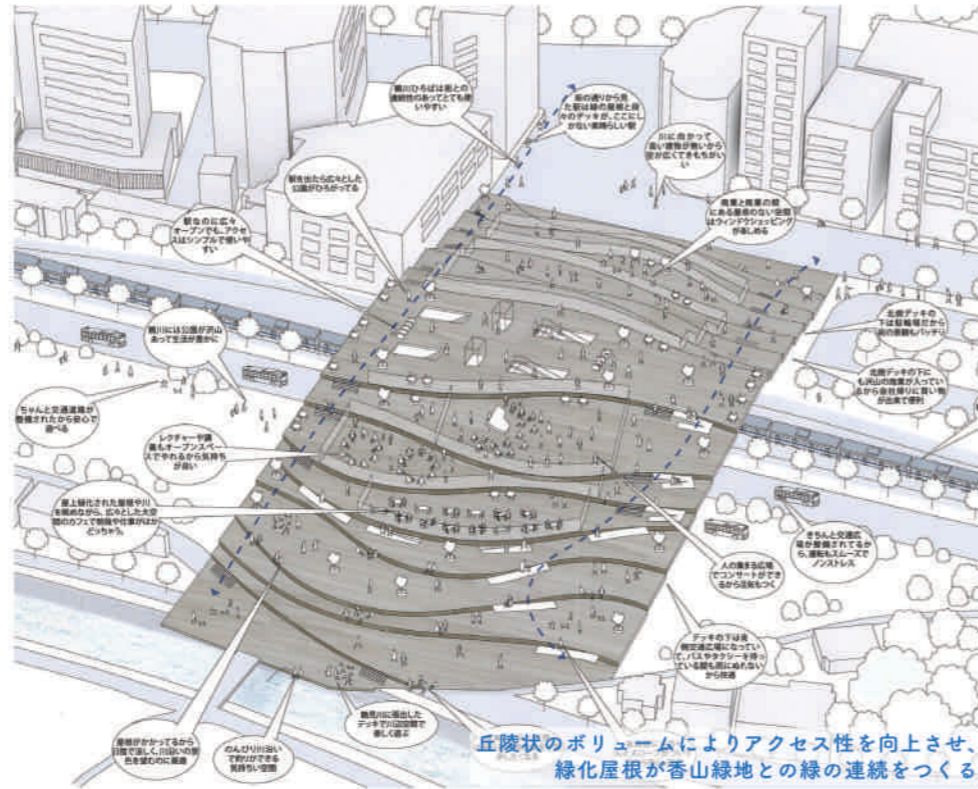
単に電車を乗り降りするための場所ではなく、空間にヒエラルキーを与えることで、機能的な空間に新たな価値を生み出す提案が多数を占めました。鶴川の風景やロマンスカーを楽しむことのできる、「鶴川ならではの」駅空間の提案が見られました。



02

鶴川駅の北側と南側を繋ぐ

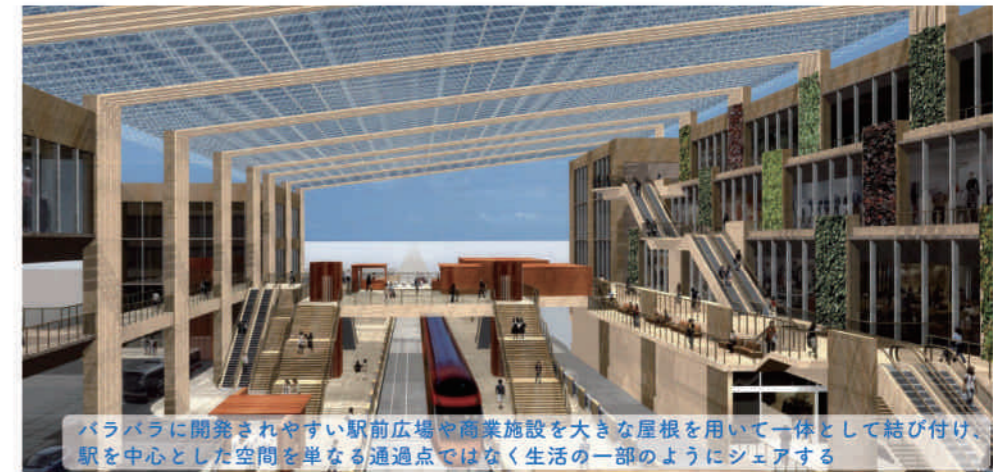
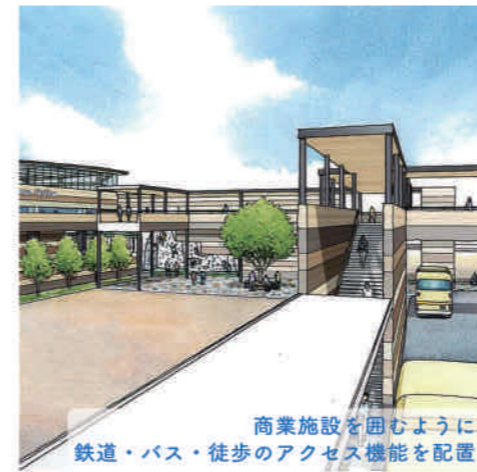
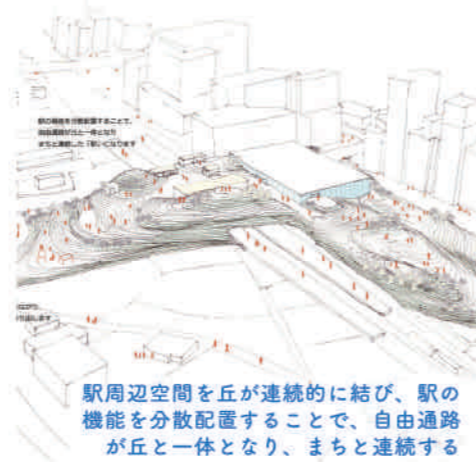
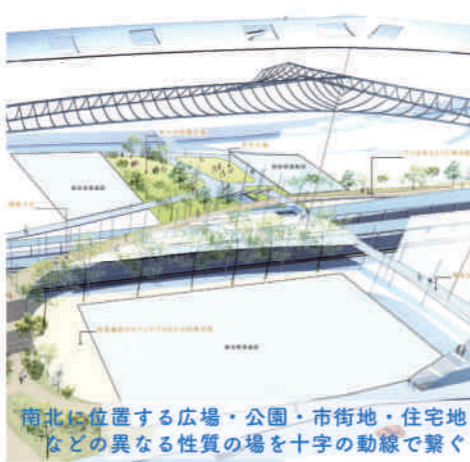
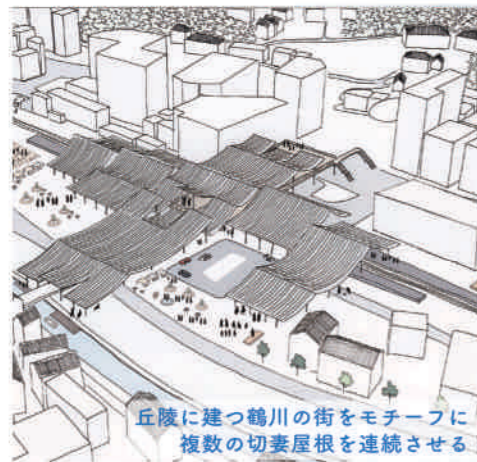
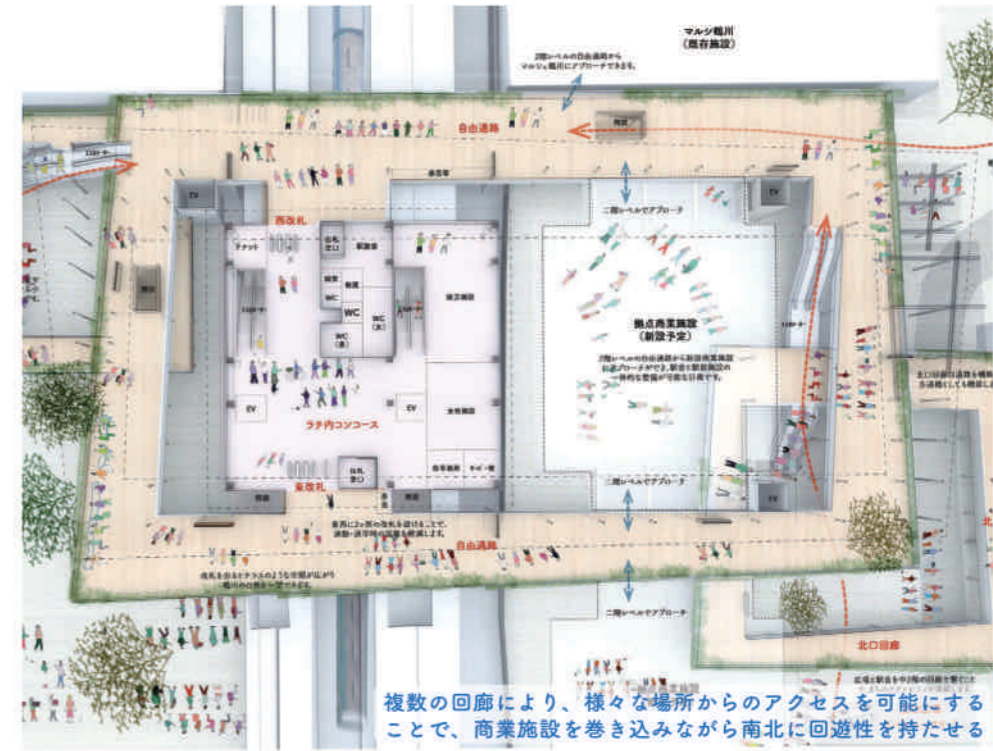
分断している南北に自由通路を設けたり駅舎全体で南北を繋ぐ提案が多数を占めました。直線型・回廊型自由通路の提案が見られ、「直線型」は単なる移動だけにならないようベンチを設けるなどの工夫が見られました。「回廊型」は駅舎が拡張し商業施設に接続する提案が見られました。



03

商業施設と一体的に計画する

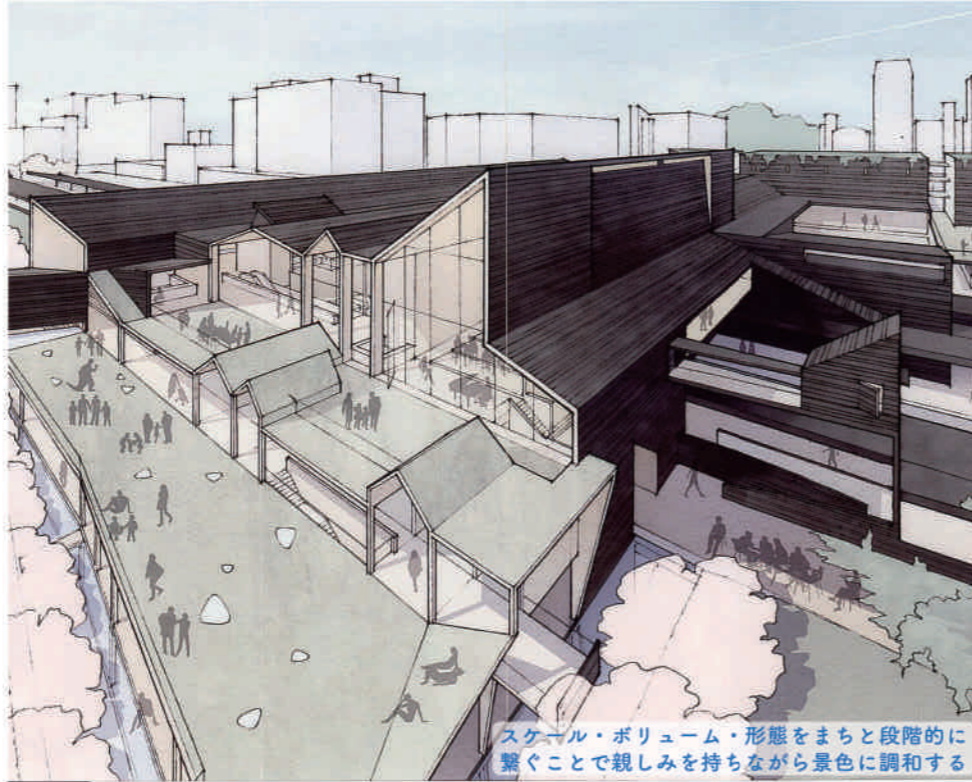
回廊やデッキ等で駅舎と新設商業施設を繋ぐ提案が多数を占めました。商業施設は駅からの動線を引き込み、駅舎は商業施設のにぎわいを受け止め、駅前の風景を彩る提案が多くみられました。



04

景観に配慮したランドスケープ

屋根やボリュームの形状を地形に合わせてのものや、ひとつの構成を反復することにより鶴川の風景や自然環境に配慮した提案が多数を占めました。その中で、新たな風景を提案しているものも見られ、街に対する「建ち方」に焦点が集まりました。

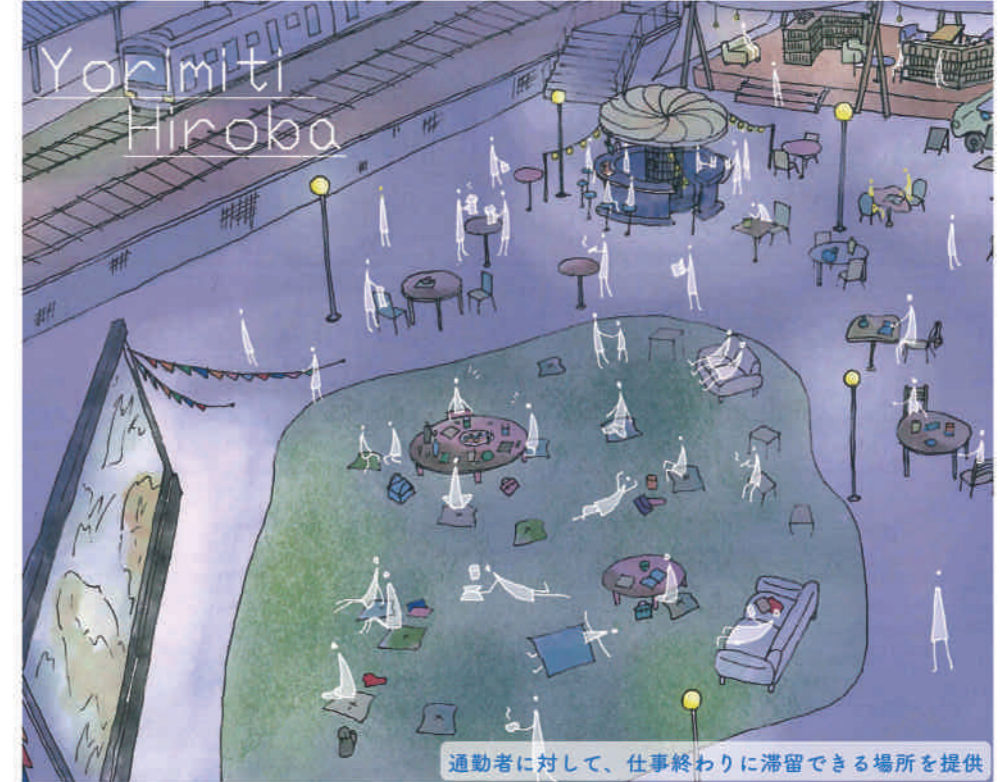


スケール・ボリューム・形態をまちと段階的に繋ぐことで親しみを持ちながら景色に調和する

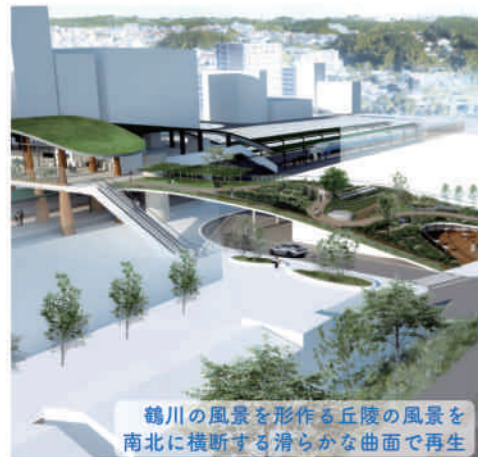
05

駅や広場で開催できる活動・イベント

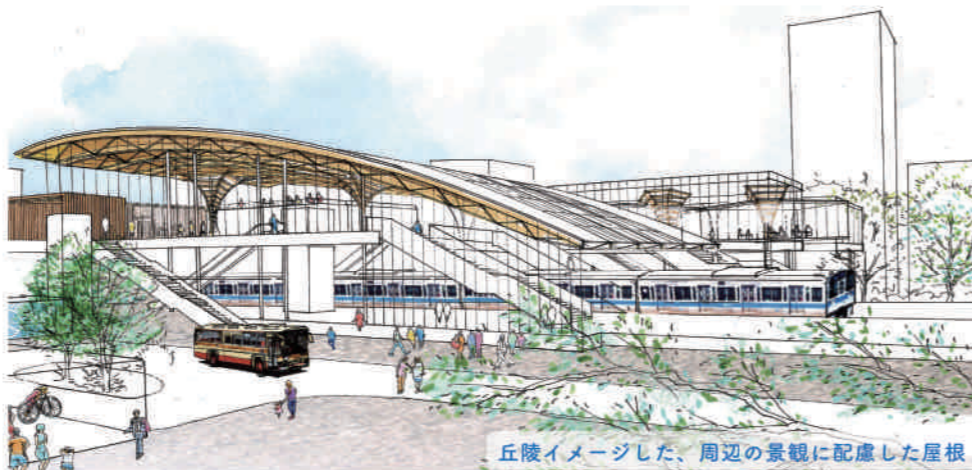
駅や広場の性質に合わせた活動の提案が多数を占めました。北口広場は多様な活動を受け入れる場として、南口広場は鶴見川に面し自然・景色を活かした自然と触れ合える場としての提案が多く見られました。



通勤者に対して、仕事終わりに滞留できる場所を提供



鶴川の風景を形作る丘陵の風景を南北に横断する滑らかな曲面で再生



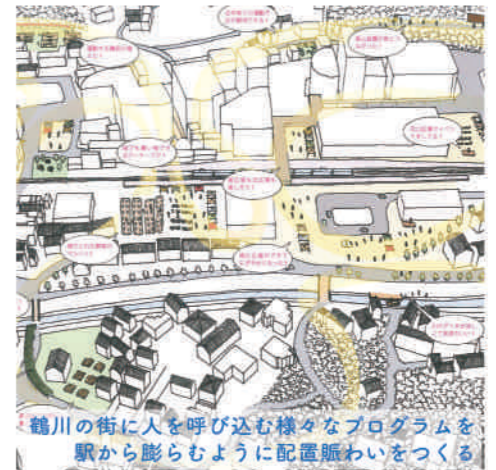
丘陵イメージした、周辺の景観に配慮した屋根



建設現場の仮囲いに周辺住民参加型アートを実施



子どもを対象とした子供用品のフリーマーケット



鶴川の街に人を呼び込む様々なプログラムを駅から膨らむように配置賑わいをつくる